

令和 7(2025) 年度東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻修士課程入学志願者案内

1. 出願資格

入学志願者は大学院出願資格（詳細は工学系研究科修士課程学生募集要項を参照）を有していなければならない。ただし、その専門分野および資格取得年次は問わない。
なお、令和 7（2025）年度の修士課程の入試は今回だけである。（年 1 回）

2. 希望指導教員と出願書類について

大学院入学者は指導教員のもとで研究を行うので、入学志願者は研究の指導を希望する教員名（第一希望、第二希望、第三希望、各 1 名ずつ）を、3 ページに示す指導教員の一覧から選択し、別紙 B 欄に記入すること。別紙は出願時に、他の出願書類と共にアップロードすること。

建築学専攻の受験には以下を提出する必要がある。(1)、(2) については、工学系研究科に「提出書類等」と一緒に提出すること。

(1) 別紙 A 欄「修士課程での研究について」に、希望する研究テーマについて記述すること。合わせて、B 欄には希望指導教員を、C 欄には専門課題 II で選択する群に○を記入すること。

(2) 「英語能力試験の成績証明書」：英語能力は受験者の提出する TOEFL iBT、または TOEFL iBT Home Edition の公式スコアで評価する。スコアの提出方法は、工学系研究科が配布する「大学院入学試験外国語（英語）試験について（TOEFL スコア提出）」の指示に従うこと。スコアの提出期限は 2024 年 8 月 8 日とする。提出するスコアは 2022 年 10 月以降に受験したものに限り。

3. 募集人員と入学時期

2025 年度の建築学専攻・修士課程の募集人員は 32 名である。なお、建築学専攻では、入学後の研究指導が特定の教員に偏ることを避けるため、教員一人当たりの受入人員に制限を設けている。合格者の入学時期は、通常、2025 年 4 月である。なお、工学系研究科修士課程学生募集要項にも記述があるが、2024 年 9 月までに大学を卒業あるいは卒業見込みであれば、2024 年 10 月に入学することが可能である。ただし、外国籍の入学志願者は、在留資格認定証明書 COE の発行が遅延する傾向にあることから 2025 年 4 月入学を勧める。

4. 選抜方法

以下に示す筆記試験及び口述試験を行い、受入予定者を選抜する。

(A) 筆記試験

試験科目	試験時間	適用
1. 外国語※ ¹		英語 TOEFL の公式スコアを所定の方法で提出。
2. 専門科目※ ¹		
① 専門課題 I	3 時間	①は建築学に関する基礎的な課題である。
② 専門課題 II	3 時間 または 4 時間	②については次の 4 群の中からいずれか 1 群を選択して解答する。選択する群を、出願時に別紙 C 欄に記入すること。 第 1 群 建築設計課題 (4 時間) 第 2 群 建築計画・建築史・構法系課題 (3 時間) 第 3 群 建築環境系課題 (3 時間) 第 4 群 建築構造・建築材料系課題 (3 時間)

※¹ 外国語・専門科目（専門課題 I・専門課題 II）のすべてを受験しないと失格になる。

(B) 口述試験

一人当たり数分程度の面接を行う。面接の使用言語は日本語または英語とする。口述試験を受けない場合は失格とする。

5. 試験日程

試験科目	日時	携行品	備考(重要)
(A) 筆記試験	英語		スコア提出
	専門課題 I	8月27日(火) 9:00~12:00	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、コンパス、三角定規
	専門課題 II 第1群	8月28日(水) 9:00~13:00	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、コンパス、T定規物差、着色用具、三角定規、その他専攻 Web サイトを確認のこと
	専門課題 II 第2群 第3群 第4群	8月28日(水) 9:00~12:00	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、コンパス、三角定規
(B) 口述試験 (面接)	8月30日(金) 9:00~14:00		集合場所・時間等の詳細は本専攻の Web サイト (https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/) に掲載する。

※ 試験開始後 30 分を過ぎての入室は、いかなる事情があっても認めない。

6. 注意事項

- (1) 入学試験受験者心得(本専攻の Web サイトに掲載 (<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>)) をよく読んでおくこと。
- (2) 受験票の写真で試験時に本人照合を行う。本人と確認できない場合は、失格となることがある。写真を修正した場合は失格とする。
- (3) その他、本専攻 Web サイト (<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>) で、試験会場ならびに試験での携行品を含む関連情報を周知するので、随時確認すること。

建築学専攻の指導教員と専門領域の一覧（教員名は五十音順）

教員名	所属	系	専門領域
赤司泰義 教授	工・建	環境	建築エネルギーシステム、建築熱環境、運用・管理、コミッションング
浅井竜也 准教授	生 研	構材	耐震工学、耐津波設計、鉄筋コンクリート構造
池田靖史 特任教授	工・建	意匠	建築情報学・建築設計
糸井達哉 准教授	工・建	構材	リスク・レジリエンス工学、荷重論、地震工学
今井公太郎 教授	生 研	計画	建築計画・建築設計・都市解析
伊山 潤 教授	工・建	構材	鋼構造・耐久性工学・地震波動解析
岩船由美子 教授	生 研	環境	エネルギーシステム評価
海野 聡 准教授	工・建	歴史	日本建築史・東アジア木造建築史・文化遺産
大岡龍三 教授	生 研	環境	都市・建築環境工学(熱・空気・エネルギー)・サステイナブルエン지니어リング
大月敏雄 教授	工・建	計画	建築計画・住宅地計画・ハウジング・住宅政策・復興デザイン
加藤耕一 教授	工・建	歴史	西洋建築史・近代建築史・建築理論
川口健一 教授	生 研	構材	構造解析・空間構造工学
川添善行 准教授	生 研	意匠	建築意匠・風景論
菊本英紀 准教授	生 研	環境	都市・建築環境、環境制御工学
楠 浩一 教授	震 研	構材	耐震工学・強震観測・鉄筋コンクリート構造
腰原幹雄 教授	生 研	構法	木質構造・建築構法
小山 毅 特任准教授*	工・建	構材	計算力学・耐水構造
権藤智之 准教授	工・建	構法	建築生産・建築構法
斎藤 豪 特任准教授	工・建	構材	セメント化学・資源循環型建築材料・建築材料化学・分析化学
坂本慎一 教授	生 研	環境	建築音響・騒音制御
佐久間哲哉 教授	工・建	環境	音環境・建築音響・騒音制御・居住環境
田尻清太郎 准教授	工・建	構材	耐震工学・鉄筋コンクリート構造
舘 知宏 教授	総文研	構材	構造幾何学、コンピューショナルデザイン
谷口景一朗特任准教授*	工・建	環境	建築環境エンジニアリング、建築環境シミュレーション
千葉 学 教授*	工・建	意匠	建築意匠・都市空間デザイン
豊田啓介 特任教授	生 研	意匠	デジタル空間記述・コモングラウンド
中埜良昭 教授	生 研	構材	耐震工学、鉄筋コンクリート構造、地震・津波防災
野口貴文 教授	工・建	構材	建築材料・資源循環・低炭素・耐久設計・維持保全・建築防火
林 憲吾 准教授	生 研	歴史	アジア都市・建築史、アーバンサステイナビリティ学
藤田香織 教授	工・建	構法	木質構造・伝統構法
本間健太郎 准教授	生 研	計画	建築計画・空間デザイン数理
本間裕大 准教授	生 研	計画	建築・都市計画、交通工学、社会システム工学、数理最適化
毎田悠承 准教授	震 研	構材	耐震工学・鉄筋コンクリート構造・損傷制御
前 真之 准教授	工・建	環境	建築環境 特にサステイナブル住宅のデザインと要素技術開発
松田雄二 准教授	工・建	計画	建築計画、医療福祉施設計画、ユニバーサルデザイン
丸山一平 教授	工・建	構材	資源循環・低炭素材料開発、極限環境材料開発、保全工学
三宅弘恵 准教授	震 研	構材	地震工学・強震動・地震災害
宮田翔平 特任講師	工・建	環境	スマートビルシステム、建築設備
安原 幹 准教授	工・建	意匠	建築意匠・建築設計
山田 哲 教授	工・建	構材	鉄骨構造・耐震工学・免震構造・制振構造
横山ゆりか 教授	総文研	計画	建築計画、環境行動・環境心理学、設計方法論
吉岡英樹 准教授	工・建	構材	建築防火工学、都市防火

(注) 所属 工・建：工学系研究科建築学専攻 本郷
震 研：地震研究所 弥生
生 研：生産技術研究所 駒場Ⅱ
総文研：大学院総合文化研究科 駒場Ⅰ

系 構材：構造・材料系
※ 2026年3月退職予定

